

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会(会長 河野良文)奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<https://www.daianji.or.jp/jdgn/>

編集:浅川千尋 (asakawa@mild.ocn.ne.jp)

● 行事報告

ビアイベント(Der Bierabend)開催

7月27日(土)大安寺獅子吼殿にて、夏恒例のビアイベントを開催しました。当日は、猛暑日でしたが37名の参加で盛会でした。午後5時半から、隅田憲孝理事の司会で河野良文会長の挨拶が行われ、藤澤一夫会員が乾杯の音頭を取り会は始まりました。



(河野良文会長の挨拶)



(藤澤一夫会員の乾杯の音頭)

三馬省二氏らの素敵な生演奏を聴きながら、参加者は、ビール、ジュースなどを飲みビュッフェ形式で様々な種類の食



(ドイツ語の発音指導の様子)

べ物に舌鼓を打っていました。奈良女子大学の留学生・学生や奈良大学の学生も参加し、会場は若い雰囲気にも包まれていました。その後、岡田由美子理事の指導の下留学生と4月に天理大学にドイツ語教員として着任されたマンチャーシュ・クーセギ氏がドイツ語発音を指導し、参加者で「喜びの歌」をドイツ語で熱唱しました。会の締めくくりは、河野良文会長の「戦争や紛争、災害で苦しんでいる人たちに思いをはせ祈りを伝えましょう」というケミカルライトを用いて祈りのバトンタッチをして終了しまし

● 新会員 神村 朋佳さん(香芝市)、神村 学さん(家族会員・奈良市)、松井 康守さん(橿原市)
7月7日(日)の理事会で入会が承認されました。

● 今後の主な行事予定

● 9月22日(日) 第30回シュタムティッシュ 獅子吼殿 14時半～16時半

ボン大学湯川史郎博士の講演会

● 10月20日(日) 第12回ドイツ料理教室 奈良市生涯学習センター

13時20分受付 13時40分から15時40分 講師: 土井ギーゼラ会員

● 11月3日(日) 第13回大安寺国際縁日

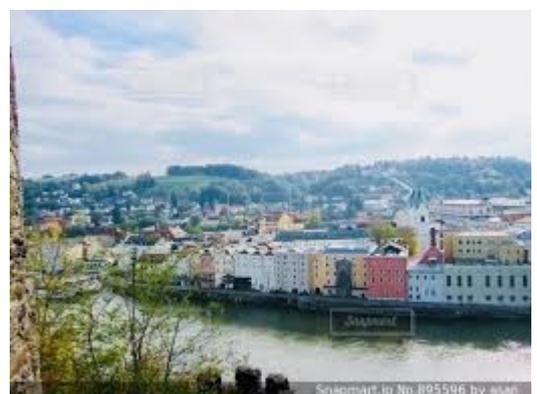
● 12月8日(日) クリスマス会(予定)

● 会員だより 入江 知子さん (2023年度入会)



ドイツに寄せて

音楽大学時代はピアノ科を専攻し、ドイツ音楽の素晴らしさに目覚めてもうすぐ半世紀が経ちます?!「芸術は長く人生は短し」我ながら時間の流れの早さにびっくりしております。バッハやベートーヴェンの話していた言葉を話したいと、ドイツ語にトライし始めたのはもう忘れるほど前のことですが、未だに口をついて出てくるようにはなりません。幸いにもこの度のドイツ語のメンバーは色々な意味で刺激的な人が多く、多分弱気になっている私を追い込んでくれる…自分がやるしかないのですが…、と思っています。ちょうど20年前に夫の仕事の関係で、南ドイツ Dreiflüssestadt (3河川の街)で知られる小都市 Passau パッサウで半年暮らしました。ドナウ川・イン川・イルツ川の合流する美しい景色を眺めることができ、バロック様式の街並みの一角にあるシュテファン教会では世界最大級のオルガンが聴け、そして船に乗れば3時間で国境を越えてウィーンに行く事ができるのも、この街の雰囲気印象深いものになっていると思われました。



(パッサウ)

なかでも興味深かったのは僅か3百人収容の小さなオペラ劇場でした。舞台とオーケストラピット、客席はす

べて大きな劇場の縮小版ですが、目の前で繰り広げられる歌&演技と舞台転換の斬新さは、まさに日本の地方にある歌舞伎劇場(例えばこんぴら歌舞伎)に通じるものがあり、オペラは人々の日常の楽しみに溶け込んでいると感じました。そして一つの演目は3カ所以上の町で巡業されるので、見逃しても他の町に行っても鑑賞できますし、若手オペラ歌手を育成する機会になっていると思いました。

パッサウで住んでいたのは Wohngemeinschaft (共同住宅)で、私共は古風な建物の一つの階、パッサウ大学の女学生が借りて住んでいる階を彼女から半年だけ借りる事ができたこともあって、ドイツ人の暮らしぶりがよく分かるとともに、そのインテリアのセンスや精神に共感を覚えました。ある日、共同スペースの階段の拭き掃除をしていると、最上階に住んでいる家主さんである高齢のご夫人が下りて来て「私は蝶々になって翔ばなければね！ Ich muss wie Butterfly fliegen！」とにっこり笑って蝶の真似をされました。まさにオペラの中のワンシーンだなあ…ととても感激しました。

寄稿させて頂くこの機会にドイツでの生活を思い出してみましたが、その時出会った方々の事を思い出すと胸が熱くなります。それからもう一つ思い出される事は、テレビを付けた時には毎日のように「ナチスの時代」の番組をやっていたことです。過去の過ちを2度と繰り返さない、国ぐるみの取り組みだと思いました。日本では考えられないことだと、少しショックを受けました。

- お願い。郵送会員の方は、ぜひメール会員になっていただければ幸いです。10月より郵便料金が値上がりいたします。よろしくごお願い申し上げます。

編集後記

今号も他の会員から助けていただきながらシンプルなフォーマットで会報をお届けしております。皆様のご意見・ご感想をお寄せいただければ大変ありがたい次第です。

なお、SNSでも日独協会等の発信をしております。

Facebook は、奈良日独協会(Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara)

Instagram は、narajapanischdeutsch です。(浅川)